

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



自らを固定観念から解き放ち 柔軟性を高めた海外勤務

栗原市企画部市民協働課 菅原 亨

東京本部では JET プログラムに関わる仕事を担当し、全国から集まった出身地域に誇りを持つ仲間と、日本をこよなく愛する優秀な外国人職員から刺激を受けました。

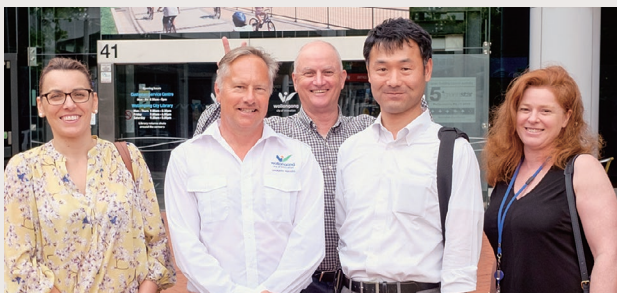
豪州シドニー事務所では姉妹都市交流の橋渡しと支援、多文化主義政策など先進施策に関する調査と情報提供、研修企画をはじめ、日本の地方自治体による海外活動の支援のほか幅広い業務に携わりました。首長や議員など要人とお会いする機会が多く、大学で講義するなど貴重な経験もでき、やりがいを感じる仕事でした。私がお世話になった方は、みな明るく大らかで、素敵な親日家ばかりでした。



日豪姉妹都市関係の象徴となる功績で旭日小綬章を受章された元リズモア市長と

多様性を受け入れる寛容な豪州社会

豪州は人口約 2,500 万人のうち 4 分の 1 以上が外国生まれという移民大国で、世界で最も成功している多文化共生社会の 1 つです。民族・文化・社会的背景の異なる人々が、互いの違いを認めあい、多様性を尊重し、すべての人が平等に社会参加できる国づくりを目指してきました。多様性こそが創造や革新を育み、国を繁栄させる原動力であると考え、世界中から集まる若い移民が社会の活力を維持し、経済成長をもたらしています。



海外自治体の仕事を肌で感じたウーロンゴン市でのインターン

現地で暮らすと、多文化共生の考えが社会全体に浸透していることを実感し、自分が移民や余所者だと意識することはありませんでした。子どもを現地校に入園・入学させた私は、家族同士のつながりから多様な移民と親しくなり、豪州社会をより深く知ることができました。

個人の自由が尊重され、自己責任の意識が高い社会である一方、Mateship という仲間意識、助け合いの精神が息づき、社会的弱者への配慮があることも特徴です。

豊かな自然環境、災害が少なく温暖な気候、底なしに明るく大らかで親切な人々、合理的で煩わしさが少ない社会の仕組み等が相まって、とても居心地が良い国です。

海外での学びを生かして

帰国後は国際交流業務を担当し、関係を深めている台湾南投市との姉妹都市提携の準備と地場製品の売込等を進めています。また、豪州と北欧へ生徒を派遣する事業に携わり、国際交流協会主催の講演会で豪州の多文化共生社会について講演する機会もいただきました。

海外勤務を通じて広めた知見、既存の価値観に縛られず、物事を俯瞰的に捉え客観的に判断する姿勢、鍛えられた現場対応力など貴重な経験を仕事に生かしています。

それから、日本には豪州人が憧れ、世界に誇れる優れた文化や先端技術がある一方、労働生産性の低さや社会の ICT 活用の遅れなど先進国の水準から劣っていることを痛感しました。特に地方自治体と義務教育現場では顕著で、そうした課題と改善策を提案していきたいです。

また、豪州では当たり前の「みんなちがって、みんないい」という、個性を尊重し多様性を認め合う社会の実現に向けて、微力を尽くしたいと思います。

プロフィール

- クリア時代の所属：
2016年4月～ 東京本部 JET プログラム事業部
2017年4月～ 2019年3月 シドニー事務所